

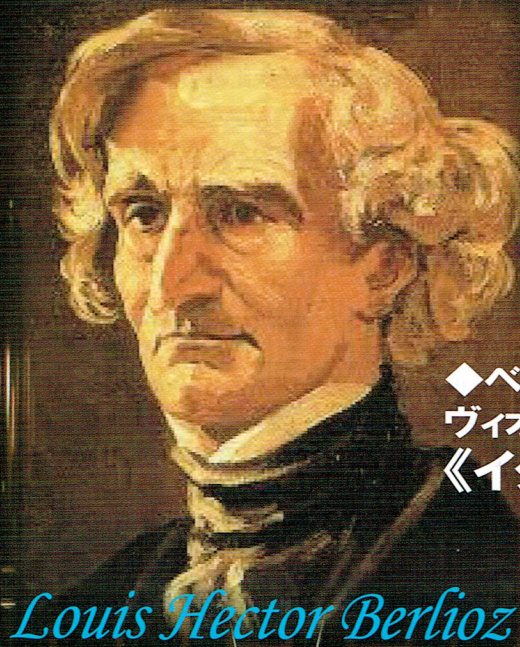
モーツァルト室内管弦楽団 第162回定期演奏会

〈フランス音楽特集〉—室内オーケストラによるベルリオーズ第2弾！—



指揮◆門 良一

開演10分前より指揮者によるプレトーク有



Louis Hector Berlioz

◆ベルリオーズ
ヴィオラ独奏付き交響曲
《イタリアのハロルド》作品16
ヴィオラ◆店村眞積



◆アダン:歌劇《われもし王者なりせば》序曲
◆ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調
ピアノ◆山田富士子



2015.

1/11(日)

2:00pm開演(1:30pm開場)

2012年7月7日第148回定期演奏会:ベルリオーズ《幻想交響曲》

いずみホール

入場料:一般 ¥5,000(指定席)/学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>

協賛◆いずみホール (一般財団法人住友生命福祉文化財団)

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 〒530-0041大阪市北区天神橋2-5-25-909 e-mail:artists@gol.com

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:240-844)

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:54790)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもたちの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のおたのしみご支援ご協力をお願い申し上げます。



室内オーケストラによるベルリオーズ第2弾！

ヴィオラ独奏付き交響曲《イタリアのハロルド》

ベルリオーズというと、一般には巨大な管弦楽を駆使する誇大妄想的な作曲家、と思われているかもしれないが決してそうではない。ベルリオーズはフランス人ならではの完璧な合理主義者であったから、彼の管弦楽書法は全く無駄がなく、必要な音がそれにふさわしい楽器に当てはめられている。その上、オーケストラの全ての楽器の全く新しい組み合わせによる、それまでになかった斬新な響きを持っているのである。ベルリオーズの時代には、今日の100人近いメンバーを擁するフル・オーケストラは定常的なものとしては存在しなかった。彼は自作において必要と思われるオーケストラ人員をスコアに書き込んでおり、それは結果的に現代のフル・オーケストラの規模になっている。しかし現代においてはオーケストラの楽器の性能も奏者の技量もベルリオーズの生きていた19世紀前半とは比較にならぬほど向上しており、したがって彼の指定した人員よりかなり少ない60人程度の室内オーケストラによって彼の作品を演奏することは無理なく可能であり、また合理的であるといえる。モーツァルト室内管弦楽団は2012年、ベルリオーズの最高傑作《幻想交響曲》に60人編成で挑戦し、大成功を収めた。今回の《イタリアのハロルド》にもどうかご期待いただきたい。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40数年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を、また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を開催している。

山田富士子●ピアノ *Fujiko Yamada, Piano*

大阪生まれ。幼少より井口基成、レオニード・コハンスキー、福井直俊の各氏に師事。東京藝術大学附属高校を経て、東京藝術大学に入学、後にフランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院入学、ピアノをヴラド・ペレルミュテル、マルセル・シアンピ、マルセル・ウークランの各氏に、室内楽をピエール・パスキエ、ジョゼフ・カルヴェの各氏に師事。マリア・カナルス国際ピアノコンクール入賞。日本国内をはじめ、フランス、イタリア、スペイン、カナダ、中国、マレーシア、タイ、フィリピン等でリサイタル、コンチェルト、室内楽等、積極的な演奏活動を展開し、ラジオやテレビでも放送される。また、日本音楽コンクール、学生音楽コンクール、スペイン・ハエン国際ピアノコンクール、ヴァレンシア・ホセ・イトゥルビ国際ピアノコンクール等の審査員も務める他、イタリア・サンタ・キアラ夏期国際音楽アカデミー、ブラハ・サマーアカデミーに講師として参加している。桐朋学園大学ピアノ科名誉教授。

店村眞積●ヴィオラ *Mazumi Tanamura, Viola*

日本音楽コンクールなどの受賞歴を重ね桐朋学園大学を経て、1976年イタリアに渡り、P.ファルツリに師事。その後指揮者R.ムーティに認められ、フィレンツェ市立歌劇場首席ヴィオラ奏者となる。1977年ジュネーヴ国際音楽コンクールヴィオラ部門第2位入賞。ジュネーヴ音楽祭など多くの音楽祭に招待され、桐五重奏団ともヨーロッパツアーを行う。1984年に帰国後は、読売日本交響楽団ソロ・ヴィオリスト、2001年から2011年5月までNHK交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者を歴任する一方、ソリストとして国内外のオーケストラやアンサンブルと共演。サイトウ・キネン・オーケストラ、霧島音楽祭、水戸室内管弦楽団の主要メンバーを務める。「ヴィオラ・スペース」への出演など、日本を代表するヴィオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活躍を展開しCD録音も多数。近年はN響の主要メンバーと「ヴィルトゥオーゾ・カルテット」を結成し、バルトークの弦楽四重奏曲の全曲演奏を果たした。現在、東京都交響楽団特任首席ヴィオラ奏者、京都市交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。東京音楽大学教授。